

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年4月1日時点)

施設名	港区立健康増進センター						
指定管理者	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社						
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	みなと保健所健康推進課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	4	4	0	24	1	23	1	29
		令和7年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		1	1					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和7年度	令和 年度	令和年度	令和 年度	備考
個人利用者数	29,181	20,321				
団体利用件数	325	338				
健康度測定受診者数	232	277				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和6年度	令和7年度	令和 年度	令和年度	令和 年度	備考
経費実績	収入	88,647,129	94,517,446	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	75,255,836	90,659,403				
	利用料金収入	0	0				
	その他収入	13,391,293	3,858,043				
	支出	84,519,285	91,040,869	0	0	0	
	職員人件費	50,406,643	60,267,043				
	光熱水費	0	0				
	修繕費	677,193	2,484,823				
	事業運営費	21,808,278	19,522,982				
	施設管理経費	5,627,171	2,766,021				
その他経費	6,000,000	6,000,000					
差引収支額	4,127,844	3,476,577	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料	78,664,000	90,800,000					

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					100 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	本年度は初年度の運営基盤を活かし、安心安全な施設環境を維持いたしました。館内巡回の継続により軽微な不具合の早期改善を徹底するとともに、高齢者や障害のある方々の多様なニーズを迅速にサービス改善へ繋げる体制を確立しております。災害時協定に基づく実践的な訓練も重ね、有事の対応力も強化いたしました。今後はこれらの取り組みをさらに深め「ライフステージに応じた健康づくり」や「健康寿命の延伸」を支える拠点として、区民の皆様への心身の健康増進に寄与する施設運営に邁進いたします。
区（施設所管課）による評価	施設利用者の潜在的なニーズを的確に把握し、魅力ある教室事業を数多く展開しました。また、さまざまな事情を持つ利用者に対するきめ細やかな配慮や環境整備に尽力し、運動を継続するための支援にも積極的に取り組んでいます。さらに、老朽化した設備の修繕や大雨による漏水への対応においても迅速に行動し、安全で安心な施設管理の維持に貢献しました。大規模改修による休館を前に、事前準備はもとより、休館期間中の臨時事業の検討にも主体的に関わっています。イレギュラーなスケジュールが見込まれる中においても、施設スタッフおよび本部のバックアップ体制が整っており、安定した運営が期待されます。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた

(90%以上)

A：施設の管理運営は優れていた

(80%以上90%未満)

B：施設の管理運営は適切に行われていた

(60%以上80%未満)

C：施設の管理運営に改善が必要であった

(60%未満)